RESAS活用サポートと
地方創生☆政策アイデアコンテストのご案内

令和6年度
近畿経済産業局　地域連携推進課

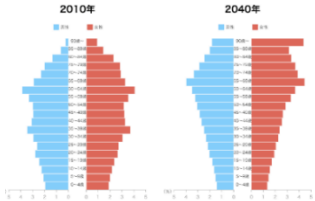
● 地域経済分析システム（RESAS)を活用した政策立案の支援

RESAS(Regional Economy Society Analyzing System）とは

◇内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局と経済産業省が提供する『地域経済分析システム』。
◇地域経済に関する様々なビックデータ（産業の強み、人の流れ、企業活動や観光情報など）を、地図やグラフで分かりやすく「見える化（可視可）したシステム」で、客観的なデータに基く政策立案＝EBPMを後押しするツールである。
※EBPM:Evidence Based Policy Making（証拠に基づく政策立案）

＜RESAS（地域経済分析システム）マップ＞

①人口マップ

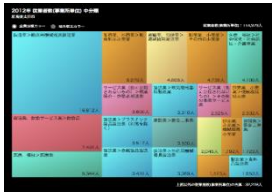


人口推計・推移、人口ピラミッド、転入転出等が地域ごとに比較しながら把握可能

②地域経済循環マップ

自治体の生産・分配・支出におけるお金の流入・流出が把握可能

③産業構造マップ

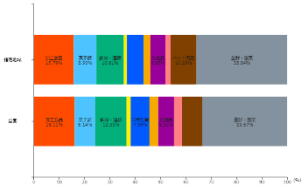


地域の製造業、卸売・小売業、農林水産業の構造が把握可能

④企業活動マップ

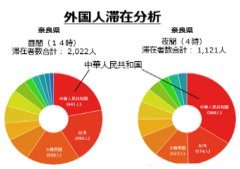
地域の創業比率や黒字赤字企業比率、特許情報等が把握可能

⑤消費マップ



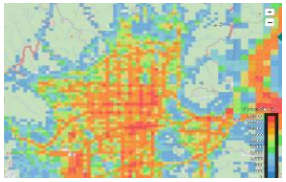
POSデータによる消費の傾向や外国人の消費構造が把握可能

⑥観光マップ



国・地域別外国人の滞在状況等のインバウンド動向や、宿泊者の動向等が把握可能

⑦まちづくりマップ

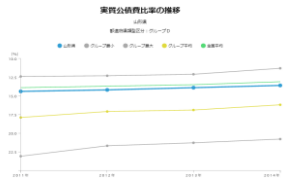


人の流動や事業所立地動向、不動産取引状況など、まちづくり関係の情報が把握可能

⑧医療・福祉マップ

地域の雇用や医療・介護について、需要面や供給面からの把握が可能

⑨地方財政マップ



各自治体の財政状況が把握可能

☆RESAS検索ホームページ
https://resas.go.jp/

Ⅰ.RESAS活用サポート

● 近畿経済産業局のRESAS活用サポート

【主要活用サポート】
RESAS出前講座（基礎編）

◆RESASを利活用して政策立案（EBPM)に取り組む地方公共団体や商工団体などに対して、「RESAS調査員」を派遣し、RESASの基本的な操作、概要、活用事例について講義を行う研修を開催

【基礎編と同日開催限定、別途相談】
RESAS出前講座（応用編：グループワーク）

◆上記RESAS出前講座基礎編で学んだ内容をもとに、1つのテーマ（課題など）について、参加者でチームを作り、適宜RESASのデータを使いながら考えるグループワークを開催

【想定対象者】

●自治体向け
対象者：庁内企画部門の職員など
●教育機関向け
対象者：教員・高校生・大学生など
●商工会議所　他向け
対象者：商工会議所職員、地方創生に取組む団体など

［実施内容］基礎講座を中心に内容は調整可能
［所要時間］60分～90分を標準とし、調整可能。
日程は当局スケジュールをもとに調整
［実施方法］訪問またはオンライン
［依頼者側で準備が必要なもの］
会場、インターネット環境、パソコンまたはタブレットなど
（当局からは資料データのみ提供）
［費用］　無料
※講師の謝金・旅費は不要。その他開催に関する費用（会場費、備品等）については、依頼者が準備、負担

● RESAS出前講座（基礎編）

基礎編

※一例

① RESASについての概要
EBPMの考え方（RESASを1手段とする場合）

② RESASの基本操作説明
（人口マップ、観光マップ、産業マップなどを例に）

③ RESAS操作演習
（内容のバランスをみて②のマップから1～数問出題）

④ RESAS活用事例の紹介
(自治体における活用事例を紹介)

▶上記①～④は中心メニューとなり、詳細は事前WEB打ち合わせにより決定
▶基礎編は、90分（講義時間、質疑応答、アンケート）を標準時間とし、
ご要望に合わせて調整可能
▶基本的には基礎編の受講をおすすめし、応用編：グループワークもご希望の際には、
事前打ち合わせで要相談（基礎編で学んだ内容をもとに、参加者間でグループワークを行う。
基礎編実施後、同日完結メニューとして実施）

（参考）RESAS基礎編イメージ

次第

第1章　RESAS、EBPMについて

第2章　人口マップ

第3章　観光マップ

第4章　産業構造マップ

第5章　データ分析支援機

第6章　活用事例

①RESASとは　　EBPMの考え方

その場限りの政策立案

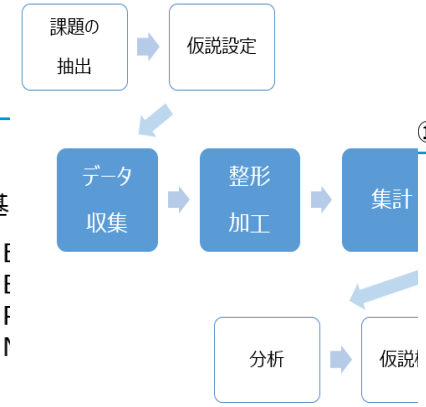
K　勘
K　経験
O　思い込み

証拠に基

E
B
P
M

EBPM（エビデンス・ベースド・ポリシー・メイキング。証拠に基づく政策立案）とは、政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠（エビデンス）に基づくものとすることです。
政策効果の測定に重要な関連を持つ情報や統計等のデータを活用したEBPMの推進は、政策の有効性を高め、国民の行政への信頼確保に資するものです。

①RESASとは　　何ができるのか



①RESASとは　　何ができるのか

長所

- 手軽に分析できる
- 専門的なツールのインストール不要
- 公的データが多く信頼性が高い

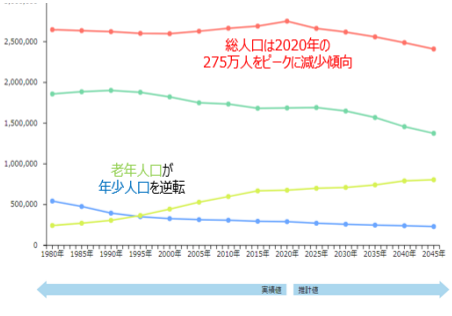
短所

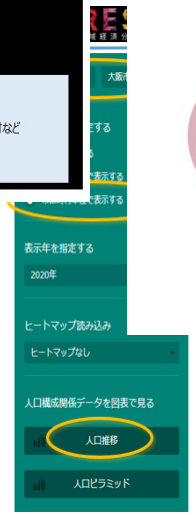
- 分析を完結できるとは限らない
- リアルタイム性が薄い

RESASで
大まかなデータをつかむ
全体の傾向に当たりをつける

②人口マップ

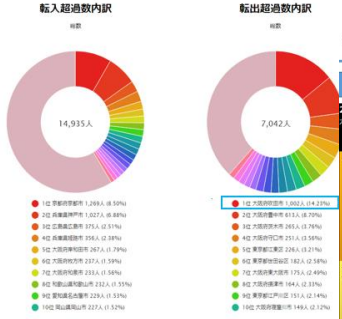
RESASトップ画面





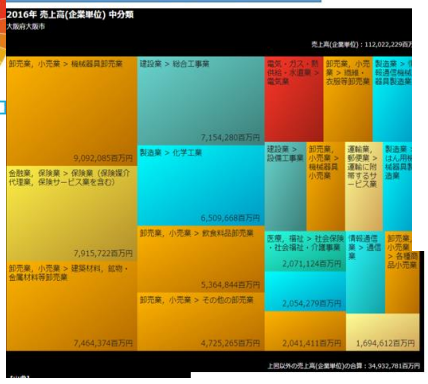
②人口マップ

人口の社会増減



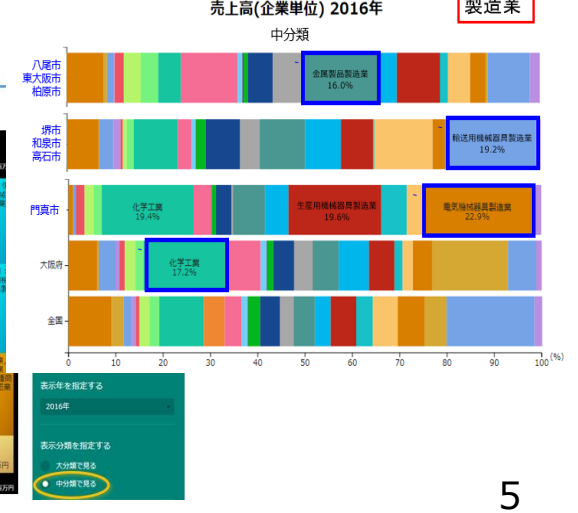
④産業構造マップ

全産業　－　全産業の構造



④産業構造マップ

全産業　－　全産業の構造



● RESAS出前講座（応用編/グループワーク） ※ご希望の場合のみ基礎編と同日、1日完結としてセット提供

応用編

地域分析グループワーク（適宜基礎編で学んだ知識を活用）

※当局からは基礎編の講義を提供し、応用編ご希望の際には、グループワークの枠組み、流れを伝達。
　基本的には、参加者同士で意見交換を行い議論する場として設定
※標準時間は60分とし、考える練習の入り口部分をサポート

<グループワークのイメージ>

【グループワークの流れ】

テーマ：○○市の転出数の減少を促進するため（or転入数の増加）には何が必要か？

（ステップ１/10分）
前半の個人ワークを基に、○○市の現状を把握するため、データから分かることや考えをワークシートに書き出してみましょう。

（ステップ２/20分）
テーマについて、最も重視すべき問題点を選定し、グループで話し合いながら仮説を立てましょう。
（仮説は間違っていて当たり前。これまで調べたデータから考えるのもOKです。）

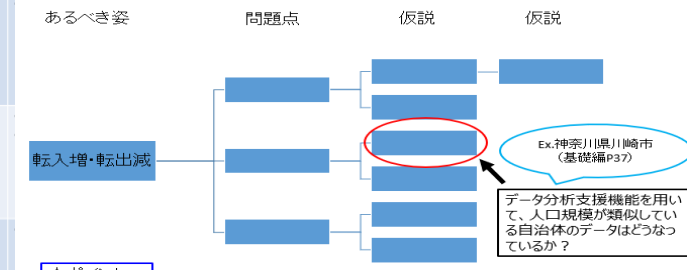
（ステップ３/20分）
ステップ2で立てた仮説に対するデータを確認しまし
データがない際はどんなデータが必要であるのかを

（ステップ４/10分）
テーマについて、ステップ3で収集したデータを踏まえ
最も重要と考える仮説を選び、なぜ重要と考えた
○○市ではどのような人口施策を打っているのかを

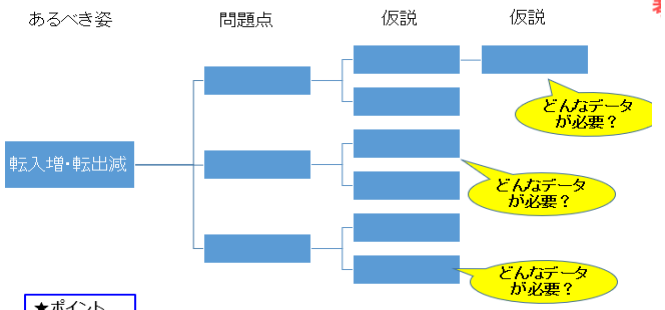
ステップ１　：　現状把握

	項目	内容	RESAS操作等
①	地域の人口の推移は？	例：総人口は2020~2045年の25年間で約16.6万人の減少（約146.3万人→129.7万人）が見込まれる。	
②	地域の人口増減の状況は？	例：1995年から社会減が継続しているが、近年は社会減が減少傾向にある。	
③	地域の転入・転出の状況は？	例：From-to分析（定住人口） 年齢階級別純移動数	

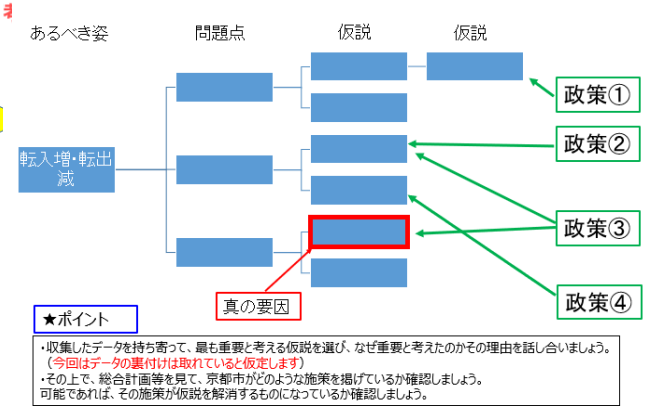
ステップ２　：　問題点の選定・仮説の構造化



ステップ３　：　どのデータが必要？≒データ収集/分析評価



ステップ４　：　真の要因の特定及び人口施策の確認



Ⅱ.地方創生☆政策アイデアコンテスト

● 地方創生☆政策アイデアコンテストの概要

- RESAS（地域経済分析システム）等を活用した、地域課題の分析を踏まえた地域を元気にする政策アイデアを募集するコンテスト
- 地方創生やデータ利活用に関心を持つ地方公共団体職員、民間団体の方や学生など、どなたでもご応募が可能
- 最終審査会では、応募者が審査員に対して直接プレゼンテーションを行う
- 高校生・中学生以下の部、大学生以上一般の部、官民連携の部の3部門でアイデアを募集

● 地方創生☆政策アイデアコンテスト2023　受賞作品

全国審査会各賞

～2023年開催の近畿エリア登録作品紹介～

☆地方創生担当大臣賞

大学生以上一般の部
＜作品名＞～QRでご紹介～ チャリで巡る！絶景AwaLand
＜所属／チーム名＞
福井大学大学院工学研究科 産業創成工学専攻 経営・技術革新工学コース 竹本研究室/チームあわら
＜分析対象地域＞福井県あわら市

☆優秀賞

高校生・中学生以下の部
＜作品名＞高砂や　この観光に　帆を上げて
＜所属／チーム名＞
兵庫県立加古川東高等学校/STEAM特講高砂班
＜分析対象地域＞兵庫県高砂市

近畿経済産業局長賞

受賞者	作品名
同志社大学 政策学部 野田ゼミ	成功の原点は美山にあった 子どもドリブン×非認知能力
福井大学大学院工学研究科　産業創成工学専攻　経営・技術革新工学コース 竹本研究室	～QRでご紹介～ チャリで巡る！絶景AwaLand
京都大学大学院公共政策教育部 政策提言ゼミ	住民にとって真に利便性の高い地域公共交通の実現に向けて
兵庫県立三木東高等学校	SDGs私たちの未来のために
福井県立高志中学校	デジタルパンフレットで支える池田町の観光
滋賀県立虎姫高等学校	めざせ資源の地産地消！お米でできたプラ製品で地域の魅力を発信！
奈良学園高等学校	生駒山上遊園地を活用した生駒市活性化計画
兵庫県立加古川東高等学校	高砂や　この観光に　帆を上げて

●受賞チームは、近畿経済産業局長賞受賞式でプレゼン権利を獲得
●受賞賞状を授与、写真撮影実施
●全国審査会に選抜されると、さらに東京でプレゼン披露の舞台へ

● 「地方創生☆政策アイデアコンテスト」への応募　5つの魅力

①地域課題を学ぶ方、事業に活かそうと考えている方の腕試しの機会となる
▶就職、総合型選抜試験などの場で、ご自身のPR材料にも・・・

②最終審査会に選抜されると、内閣府、経済産業省、協賛企業からの評価を受けることができる

③近畿地区で近畿経済産業局長賞に選抜されると、他選抜チームとの発表会に参加できる

④特に学生の方、例年応募期間は夏休み期間も含まれるため、課題と合わせて作成も可能

⑤RESASデータ活用が必須条件、WEBで応募が完了　当資料9ページ参照

＜2023年　協賛企業例＞順不同　※協賛企業賞の設定もあり

日本電気株式会社、楽天グループ株式会社、株式会社ナビタイムジャパン、東京海上日動火災保険株式会社、
株式会社テレビ東京コミュニケーションズ、株式会社さとふる、株式会社日本政策投資銀行　他

コンテストで受賞された場合、ご自身、組織のPRに
ご活用ください。ご応募お待ちしております

出前講座申込書兼コンタクトシート

お申込み団体名	
担当者 ご所属	
担当者 お役職	
担当者 ご氏名	
ＴＥＬ	
ＦＡＸ	
メールアドレス	
参加人数（予定）	名 参加予定
第1希望日	令和　　年　　月　　日　　AM　・　PM
第2希望日	令和　　年　　月　　日　　AM　・　PM
第3希望日	令和　　年　　月　　日　　AM　・　PM
要望欄、その他	

出前講座をご希望の際は、以下に必要事項をご記入の上、E-mailにて近畿経済産業局地域連携推進課まで送信してください。後日、担当者より連絡し、日程調整など打ち合わせにより決定いたします。その他、お問い合わせがおありの際にも「要望欄、その他欄」に記載し、送信してください。
※講師の謝金・旅費は不要ですが、その他開催に関する費用（会場費、備品等）については、ご負担をお願いいたします。

【本資料に関するお問合せ先】
経済産業省　近畿経済産業局
地域経済部　地域連携推進課
〒540-8535　大阪市中央区大手前一丁目5番44号
E-mail:bzl-kin-resas@meti.go.jp